妊婦さんが赤ちゃんのために接種する　RSウイルス感染症予防接種

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症で、特に生後6か月未満の赤ちゃんは重症化しやすいとされています。
妊婦が、RSウイルスワクチンを接種することで、その体内にRSウイルスに対する抗体が産生され、胎盤を通して赤ちゃんに移行します。それにより、出生後の赤ちゃんをRSウイルスから守ることができます。

■対象者

妊娠28週から37週に至るまでの人
詳しくは、市ホームページをご確認ください。

令和8年4月から定期接種開始

市ホームページ

成人風しん予防接種の助成

妊娠初期の女性が風しんに感染すると先天性風しん症候群(胎児が白内障・先天性心疾患・難聴等)になる可能性があります。先天性風しん症候群予防のため、風しんの予防接種費用の助成をします。

■対象者

申請日時点で、守山市に住民登録があり、次の①②すべてにあてはまる人
①妊娠を希望している女性または、風しん抗体価が低い妊婦の同居の人
②令和7年度以降の「滋賀県風しん抗体検査」または「妊婦健康診査での風しん抗体検査」のいずれかを受けて、抗体価が「HI法16倍以下」または「EIA法8.0未満」の人
詳しくは、ホームページをご覧ください。

(守山市成人風しん予防接種助成)ホームページ
(滋賀県風しん抗体検査)ホームページ
(助成申請電子フォーム)

長期療養等により定期予防接種の機会を逃した人へ

長期にわたる療養等で、対象年齢内に定期予防接種を受けられなかった人は、条件に該当する場合、定期予防接種として接種を受けることができます。
詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ

骨髄移植等の治療後の予防接種の再接種費用助成

定期予防接種により得た免疫が骨髄移植等の医療行為によって、低下または消失したため、再度予防接種が必要と医師が診断された人に対して、予防接種の費用を助成します。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ

※上記予防接種についてのお問い合わせは、すこやか生活課(TEL.598-5711)まで。
※令和8年2月1日現在で作成しています。今後内容等に変更が生じることがあります。